

## 大分市水素利活用シンポジウム 出席者の紹介

<b>大平 英二</b>	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）主任研究員 大分市水素アドバイザー
<p>1992年NEDO入構。バンコク事務所次長、蓄電技術開発室室長などを経て、2013年4月より現職。多くの企業、大学が参画する技術開発プロジェクトのマネージャーとして、高効率で低コストの水素製造技術や水素を活用する新しいエネルギーシステム構築のための研究開発を推進。その傍ら、数多くの講演活動やメディアへの出演、地方自治体における水素エネルギー普及計画策定のための委員会への参画を通じて、水素エネルギーのわかりやすい情報発信に尽力。</p>	

<b>佐々木 一成</b>	国立大学法人九州大学 副学長 兼 水素エネルギー国際研究センター長
<p>1993年スイス連邦工科大学チューリッヒ校工学博士号取得。10年間の在欧の後、2005年より九州大学大学院工学研究院・教授を務める。現在、九州大学副学長、水素エネルギー国際研究センター長、次世代燃料電池産学連携研究センター長、カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所主任研究者を兼務しており、主に、固体酸化物形および固体高分子形燃料電池の材料・プロセス研究に従事し、九大「水素プロジェクト」を先導している。</p>	

<b>山北 智子</b>	福岡県商工部新産業振興課 企画監
<p>1987年福岡県入庁。商工部中小企業振興課参事補佐、観光振興課課長補佐などを経て、2017年4月より現職。 福岡県では、水素エネルギー社会の実現に向け、平成16年に産学官連携組織「福岡水素エネルギー戦略会議」を設立。福岡水素戦略のもと、研究開発、社会実証、新産業の育成等を総合的に展開。地元企業の参入促進に向けた開発助成やセミナーの実施、水素技術者育成講座の開催のほか、平成26年には「ふくおかFCVクラブ」を設立し、FCVの普及と水素ステーションの整備を地域一体となって推進している。</p>	

<b>染矢 安博</b>	江藤産業株式会社 代表取締役社長
<p>佐伯鶴城高校、立命館大学を卒業し1981年江藤産業(株)に入社。建築事業本部建築部長、EBL営業本部長を経て平成25年2月に代表取締役社長就任。現在に至る。 LPガスを中心としたエネルギー事業の一環として太陽光発電、地熱発電などの再生可能エネルギーの普及に取り組んでおり、将来の水素社会を見据えて平成28年4月に大分県初（東九州唯一）となる水素ステーションを大分市乙津町に開業。水素関連事業を推進している。</p>	

<b>桑野 恭子</b>	認定NPO法人地域環境ネットワーク 理事 エコアクション21地域事務局おおいた 責任者、一級建築士
<p>2008年度までの3年間「大分県地球温暖化防止活動推進センター」の運営に携わり、現在も大分県環境教育アドバイザーとして幅広い層を対象に地球温暖化防止の普及啓発に取り組んでいる。また、2008年度から「エコアクション21地域事務局おおいた」の責任者として県内自治体と連携を図り、主に中小零細事業者を対象に環境経営システムの支援に取り組んでいる。「大分県新エネルギービジョン推進会議」の委員のほか、2016年度は「第2期大分市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の改定部会長を務めた。</p>	